

第 96 回規格会議

7月3日（金）に、第96回規格会議が東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催されました。7月1日付で、規格会議委員長に尾上 誠蔵氏（NTTドコモ）が、委員長代理に児玉 圭司氏（日本放送協会）が、それぞれARIB会長より委嘱され、新体制での開催となりました。今回の規格会議では、標準規格の策定3件、改定14件、技術資料の改定6件が提案のとおり決議されました。

本規格会議において決議された議案の概要は以下のとおりです。



第 96 回規格会議の様子と新体制（尾上委員長(左)と児玉委員長代理(右)）

第 96 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定及び改定等の概要

No.	規格番号	規格名等	概要
1	ARIB STD-T113 1.0 版	ワイヤレス電力伝送 システム標準規格	<p>本標準規格は、無線で迅速かつ容易な充電を可能とするワイヤレス電力伝送システムについて規定したものである。</p> <p>今回は、モバイル機器等を充電する、第1編 400kHz 帯電界結合ワイヤレス電力伝送システムと第2編 6.78MHz 帯磁界結合ワイヤレス電力伝送システムの2方式について規定しており、電波法第100条第1項第2号に規定される高周波利用設備のうち、電波法施行規則第45条第3号に規定される各種設備において、許可を要しない高周波出力値（50W）以下で運用される。また、平成27年1月の情報通信審議会答申（ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件）に準拠している。</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
			<p>6.78MHz 帯磁界結合ワイヤレス電力伝送システムは、ワイヤレス電力伝送のための国際的な業界団体である Alliance for Wireless Power (A4WP)の技術仕様を採用している。A4WP の技術仕様は A4WP から複製・配布の許諾を得て、本標準規格に付録として添付されている。</p>
2	RCR STD-30 2.2 版	小電力セキュリティシステムの無線局の無線設備標準規格	<p>本標準規格は、電波法施行規則第 6 条第 4 項第 3 号に規定される小電力セキュリティシステムの無線局（主として火災、盗難その他非常の通報又はこれに付随する制御を行うもの）の無線設備について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省における制度整備（総務省令第 69 号及び総務省告示第 282 号、平成 26 年 8 月）に対応するため、空中線電力、送信時間制限、空中線の構造及び利得に関する事項等について所要の改定を行うものである。</p>
3	ARIB STD-T63 Ver.11.00 及び ARIB TR-T12 Ver.11.00	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report	<p>本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第 95 回規格会議（平成 27 年 3 月開催）において平成 26 年 12 月までに 3GPP が制定したリリース 4 からリリース 11 (LTE-Advanced 仕様は含まない。)までの仕様及び技術資料を基に Ver. 10.70 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、平成 27 年 3 月までに 3GPP が制定したリリース 8 からリリース 12 (LTE-Advanced 仕様は含まない。)までの仕様及び技術資料を基に国内環境に対応するように改定するものである。今回、リリース 12 について初めての改定対応となるため、本標準規格及び技術資料のバージョン番号を 10.70 から 11.00 にアップする。</p>
4	ARIB STD-T64 Ver.7.00 及び ARIB TR-T13 Ver.7.00	IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report	<p>本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 MC-CDMA システムに関するものであり、第 94 回規格会議（平成 26 年 12 月開催）において平成 26 年 7 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料をベースに Ver.6.90 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、平成 27 年 3 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料に対応するように改定するものである。</p>
5	ARIB STD-T99 2.1 版	特定小電力無線局 150MHz 帯動物検知 通報システム用無線 局の無線設備標準規 格	<p>本標準規格は、電波法施行規則第 6 条第 4 項第 2 号に規定される特定小電力無線局のうち動物検知通報システム（国内において主として動物の行動及び状態に関する情報の通報又はこれに付随する制御をするための無線通信を行う無線設備）について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省における制度整備（総務</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
			省告示第 281 号、平成 26 年 8 月) に対応するため、送信時間制限に関する事項等について所要の改定を行うものである。
6	ARIB STD-T104 Ver.3.00	LTE-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced System に関する 2 つの標準規格の内の 1 つである LTE-Advanced System に関するものであり、第 95 回規格会議(平成 27 年 3 月開催)において平成 26 年 12 月までに 3GPP が制定したリリース 10 からリリース 11 までの LTE-Advanced 仕様を基に Ver.2.70 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、平成 27 年 3 月までに 3GPP が制定したリリース 10 からリリース 12 までの LTE-Advanced 仕様を基に国内環境に対応するように改定するものである。今回、リリース 12 について初めての改定対応となるため、本標準規格のバージョン番号を 2.70 から 3.00 にアップする。</p>
7	ARIB TR-G1 1.1 版	微弱無線局(電波暗室等の試験設備の内部で開設される無線局)の電界強度の測定方法技術資料	<p>本技術資料は、電波法施行規則第 6 条第 1 項第 1 号の規定により無線局免許を不要とされる無線局(いわゆる「微弱無線局」という。以下同じ)のうち、平成 18 年総務省告示第 173 号に定められる試験設備の内部で開設される無線局の無線設備について、当該無線局が発射する電波の電界強度を測定し、又は、試験設備の減衰効果を把握した上で電界強度を推計する方法を提示したものである。</p> <p>今回の改定は、「昭和 63 年郵政省告示第 127 号」を本技術資料に引用する際に発生した誤記を訂正するものである。</p>
8	ARIB STD-B66 1.0 版	UHDTV マルチフォーマット・カラーバー標準規格	<p>本件は、超高精細度テレビジョン(UHDTV)映像フォーマットに対応したカラーバー信号を規定することで、映像信号レベルの管理を容易にし、番組制作及び国際番組交換の運用円滑化を図ることを目的とした標準規格を策定するものである。</p> <p>本標準規格で規定するマルチフォーマット・カラーバーは、ARIB STD-B56 超高精細度テレビジョン方式スタジオ規格のシステムパラメータに準拠した映像パターンを複数組み合わせ、単一の映像で番組制作及び国際番組交換に有用な基準映像を規定するものである。</p>
9	ARIB STD-B67 Ver.1.0	ESSENTIAL PARAMETER VALUES FOR THE EXTENDED IMAGE DYNAMIC RANGE TELEVISION	<p>本件は、拡張映像ダイナミックレンジ型テレビジョンシステム(EIDRTV)のシステムパラメータの内、光の情報を電気の情報へ変換し、デジタル化する際に必須となるパラメータである測色パラメータ、信号フォーマット及びデジタル信号表現を規定するものであり、この方式による番組制</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
		(EIDRTV) SYSTEM FOR PROGRAMME PRODUCTION ARIB STANDARD	作が円滑に実施されることを目的とした標準規格を策定するものである。 本標準規格は EIDRTV の測色パラメータ、信号フォーマット及びデジタル信号表現を規定し、(映像の空間特性、時間特性など)ここに規定していないシステムパラメータに関しては、他のテレビジョンシステム規格を参照するものである。 なお、本標準規格は、国際電気通信連合 (ITU) の勧告及び ISO/IEC JTC 1/SC 29/WG 11 (MPEG) の標準規格から参照されることを想定する規格であり、英文版を正本とする。
10	ARIB STD-B1 3.1 版	CS デジタル放送用 受信装置標準規格 (望ましい仕様)	本標準規格は、12.2～12.75GHz 帯 27MHz 帯域幅の狭帯域/高度狭帯域伝送方式による CS デジタル放送用受信装置の最小限の機能・定格・望ましい仕様について規定したものである。 今回の改定は、音声モードがモノの場合に 2チャンネルステレオで再生する場合の出力レベルを明確化するために改定するものである。
11	ARIB STD-B10 5.5 版	デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格	本標準規格は、デジタル放送の番組配列情報の構成、データ構造及び識別子の運用基準について規定したものである。 今回の改定は、エリア放送の高度化に対応するための記述子の修正、STD-B60 の改定に合わせた音声コンポーネント記述子等の修正、エディトリアルな修正を行うものである。
12	ARIB STD-B21 5.6 版	デジタル放送用受信装置標準規格 (望ましい仕様)	本標準規格は、デジタル放送用受信装置の基本的な機能、定格及び性能を規定したものである。 今回の改定は、音声モードがモノの場合に 2チャンネルステレオで再生する場合の出力レベルを明確化するために改定するものである。また、高度広帯域衛星デジタル放送用受信装置の標準規格策定 (STD-B63) に伴い、目的、適用範囲、関連文書の改定を行う。
13	ARIB STD-B30 1.4 版	地上デジタル音声放送用受信装置標準規格 (望ましい仕様)	本標準規格は、地上デジタル音声放送の受信装置を対象に、実用化初期に必要な機能、定格及び性能を規定したものである。 今回の改定は、音声モードがモノの場合に 2チャンネルステレオで再生する場合の出力レベルを明確化するために改定するものである。また、5.1 マルチチャンネル音声のダウンミックスの規定に関して、デジタル放送用受信装置の標準規格 (ARIB STD-B21) を参照するよう記載を改定するものである。
14	ARIB STD-B32 3.3 版	デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格	本標準規格は 3 部から構成されており、第 1 部はデジタル放送における映像信号と映像符号化方式を規定、第 2 部はデジタル放送における音声信号と音声符号化方式を規定、第 3 部はデジタル放送における伝送信号の多重化方式を規定したもの

No.	規格番号	規格名等	概要
			<p>である。</p> <p>今回の改定は、第 1 部は HEVC で符号化する場合の制約条件を修正するとともに、HEVC によるテレビジョンサービスにおける記述子の運用の明確化のための修正、第 2 部は付属として規定されている音声パラメータ切替えの追加規定を行うとともに、MPEG-4 ALS 方式関連規定の明確化を行うものである。</p> <p>HEVC : High Efficiency Video Coding ALS : Audio Lossless Coding</p>
15	ARIB STD-B53 2.2 版	セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）	<p>本標準規格は、移動体・携帯端末向け地上マルチメディア放送のうち、セグメント連結伝送方式によるものに関し、その受信装置の基本的な機能、定格及び性能を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、音声モードがモノの場合に 2 チャンネルステレオで再生する場合の出力レベルを明確化するために改定するものである。</p>
16	ARIB STD-B60 1.3 版	デジタル放送における MMT によるメディアトランスポート方式標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送における MMT による映像、音声、データ等のトランスポート方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、アセットタイプの追加、記述子の追加・修正及びエディトリアルな修正を行うものである。</p> <p>MMT : MPEG Media Transport</p>
17	ARIB STD-B62 1.2 版	デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式(第 2 世代)標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送における第 2 世代のマルチメディア符号化方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、放送用拡張関数の追加修正、データリソースの蓄積制御規定の追加、誤記訂正を行うものである。</p>
18	ARIB STD-B63 1.2 版	高度広帯域衛星放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）	<p>本標準規格は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送用受信装置の基本的な機能、定格及び性能など望ましい仕様を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、音声モードがモノの場合の 2 チャンネルステレオで再生する場合の出力レベルを明確化するための改定、本編及び付録のダウンロード機能に関して付録と付属の構成を見直すとともに TBD の部分の記載及び、補足情報の追記を行うものである。</p>
19	ARIB TR-B14 5.9 版	地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の放送局での運用及び地上デジタルテレビジョン放送受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、第七編（送出運用規定）の TS 名を変更するものである。</p> <p>TS : Transport Stream</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
20	ARIB TR-B15 6.7 版	BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送の放送局及び広帯域 CS デジタル放送の放送局での運用並びに BS デジタル放送受信機及び BS・広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、地デジ難視対策衛星放送（衛星セーフティネット）の終了に伴い改定を行うものである。</p>
21	ARIB TR-B32 1.3 版	デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定技術資料	<p>本技術資料は、日本のデジタルテレビ放送における平均ラウドネス値による音声レベル運用と最大許容ピークレベルについての基準を定め、これにより、視聴者に快適な放送を提供することを目的とするものである。</p> <p>本技術資料では、ITU-R（国際電気通信連合・無線通信部門）の Rec. ITU-R BS.1770 で規定される平均ラウドネス値の測定アルゴリズムに基づいた運用を規定している。</p> <p>現在、デジタルテレビ放送では、本技術資料に基づき、番組制作・送出時のラウドネスが管理されている。一方、モノ番組においては、受信機では左右のスピーカから再生されることが多いため、モノ番組の平均ラウドネス値の測定方法と、モノ・ステレオ番組間の再生音声レベル配分比を制作から受信まで一貫して規定しないと最終的な再生レベルが統一されない危惧がある。</p> <p>今回の改定は、音声モードがモノの場合の平均ラウドネス値の測定法を明確化するものである。</p>